

タイトル：第 45 回研究大会 研究発表の募集について

〈メインテーマ〉破壊、創造、継承。前例踏襲を打ち破れ。

～VUCA の時代に公認会計士が取り組むべき課題～

〈開催日〉2024 年 9 月 12 日（木）

〈会場〉名古屋マリオットアソシアホテル

（愛知県名古屋市中村区名駅 1 丁目 1-4）

第 45 回研究大会は、東海会の主催により、愛知県名古屋市にて開催させていただきます。

「VUCA（先行きが不透明で将来予測が困難）の時代」と言われる現代は、数値の正確性や本質の見極めが困難となり、判断に影響を与える要素の多様性が増しており、公認会計士に対する社会のニーズが深化・多様化しています。

そのような中、思考停止に陥り過去のやり方をそのまま前例踏襲するだけでは、社会の期待に応えることができず公認会計士は社会から取り残される可能性があります。

破壊とは、いったんゼロベースにして、変化し続ける環境に合わない古いやり方や考えを取りやめ、新しい発想を生み出すきっかけを作ることをいいます。

創造とは、変化する環境に合った新たな価値を作り出すことをいいます。

継承とは、古（いにしえ）から続く諸先輩の遺産や伝統で今も価値を持つものは続けていくことをいいます。

この 3 つのプロセスを継続し環境の変化に適応し続けることが、VUCA の時代に生きる公認会計士に必要であるとわれわれは考えます。

そして、クライアントの破壊、創造、継承のプロセスを支えていくことが、公共の利益に資することに繋がると考えます。

今研究大会では、以上のような公認会計士自らの破壊、創造、継承に関する取り組みについて、そしてクライアントの破壊、創造、継承を支援するための手段について皆で学び、前例踏襲にとらわれないための機会としたいと考えております。

研究発表募集要領

1. 応募資格

会員・準会員及び一般有志

2. 募集テーマ

原則として、メインテーマ「破壊、創造、継承。前例踏襲を打ち破れ。～VUCAの時代に公認会計士が取り組むべき課題～」に関連するテーマとします。

3. 募集内容

(1) テーマ及び発表者（パネリスト）の募集

① 研究論文による発表

日頃の研究内容を論文にまとめて、研究大会当日、発表していただきます。ご応募いただく際は、MS Word ソフトウェアを利用して次のとおり論文を作成し、選考結果の送付先となる住所を明記の上、電子データをメールに添付してお送りください。

- ・ A 4 判 10 頁以内（目次、図表等全てを含みます）
※採用となった方には、当日掲示・配付用のスライド資料(MS PowerPoint ソフトウェア利用)を後日ご提出いただきます。
- ・ 1 頁の設定 40 字 38 行（フォントサイズは本文 11 ポイント）
- ・ 研究大会当日は論文内容につきスライド資料をご用意いただき、内容についてご発表いただきます。

※なお、研究論文については会員からの推薦も選考の対象とします。応募の際は、推薦する研究論文（テーマ）及び発表方法に発表者の住所・氏名・職業・電話番号、発表者の同意を得ている旨を明記の上、お送りください。

② パネルディスカッション形式による発表

研究内容をスライド資料としてご用意いただき、研究大会当日、その内容についてパネリスト間でディスカッションを行っていただきます。ご応募いただく際は、MS Word ソフトウェアを利用して次のとおりパネルディスカッションの企画書（テーマ・発表の趣旨、目的・内容の概要・パネルディスカッション形式とした理由・パネリストの略歴を記載）を作成し、選考結果の送付先となる住所を明記の上、電子データをメールに添付してお送りください。

- ・ A 4 判 5 頁程度
※採用となった方には、当日掲示・配付用のスライド資料(MS PowerPoint ソフトウェア利用)を後日ご提出いただきます。
- ・ 人数はパネリスト及びコーディネーター含め 5 名以内（厳守）

(2) テーマの募集 ～フリーディスカッション形式による発表

公認会計士制度、業務に関係し、日頃関心を持っている内容で大会参加者と意見

交換してみたいと考えるテーマについてのご提案を募集します。ご応募いただく際は、テーマ（例えば「公認会計士制度のあり方」など）及びテーマ選定の趣旨、目的を作成いただき、発表者として希望する者のリストを添えてお送りください。

継続的専門能力開発制度協議会において、テーマに合ったコーディネーター等発表者を選定します。

※ご応募いただく際は、発表テーマ及び発表方法を明記の上、住所・氏名・職業・電話番号を記載の上、ご応募ください。

4. 応募及び推薦締切日

2024年2月29日（木）（必着）

5. 選考

継続的専門能力開発制度協議会において、研究発表のテーマとしてふさわしいか否かを基準として審査・決定します。

また、発表方法（研究論文、パネルディスカッション形式、フリーディスカッション形式）が偏らないように考慮し選考いたします。

ご送付された原稿等は返却いたしませんのでご注意ください。

6. 発表予定テーマ数

今大会（第45回研究大会）では、10テーマの発表を予定しており、うち2テーマは、研究大会開催地域会である東海会に割り当てる予定です。

また、学術賞受賞作品の中で研究発表テーマとしてふさわしいものがあれば、10テーマの中にも含めることも検討します。

7. 発表日時・会場

発表日時：2024年9月12日（木）午後

発表会場：名古屋マリオットアソシアホテル

8. 研究発表の決定

2024年4月末を目処に、応募された方に選考結果をご連絡します。

なお、選考経緯等は公表しませんので、あらかじめご了承の上ご応募ください。

9. 送付先及び問合せ先

〒102-8264 東京都千代田区九段南 4-4-1

日本公認会計士協会 会務運営戦略本部研修グループ

TEL : 03-3515-1126（直通）

E-Mail : kenkyutaiikai@sec.jicpa.or.jp

（企画運営）継続的専門能力開発制度協議会・東海会研究大会実行委員会

＜参考＞前回の研究発表テーマ一覧（第44回研究大会）

前回メインテーマ：多様性に挑む公認会計士～期待と信頼を胸に

【研究発表①】

テーマ1	【パネルディスカッション】 北海道における宇宙開発の進展と公認会計士に期待される役割
テーマ2	【パネルディスカッション】 税務行政と会計を切り口とした経理DXの未来 ～インボイス制度・電子帳簿保存法の先にあるもの～
テーマ3	【対談形式】 「地方創生ビジネスを通じた公認会計士の貢献」 ～持続可能な社会の実現に向けて公認会計士だからできること～
テーマ4	【パネルディスカッション】 「PAIBが挑むカベ」 ～多様性に挑む公認会計士における制度課題と今後の展望～
テーマ5	【パネルディスカッション】 サステナビリティリスクがサプライチェーンに与える影響と、公認会計士の貢献～気候変動による企業環境変化がもたらす課題と期待に、どう応えるのか～

【研究発表②】

テーマ6	【パネルディスカッション】 中小企業に対する専門家支援の現状と公認会計士の貢献
テーマ7	【論文】 【学術賞（MCS賞）】企業価値向上のための経営指標～EV-KPIペンタゴンモデル5つのカテゴリーにわたる経営指標を具体化する～
テーマ8	【パネルディスカッション】 多様な観点から考える公認会計士のITリテラシー～真に必要なITリテラシーを高めるためには～
テーマ9	【パネルディスカッション】 スタートアップ企業の価値評価と資金調達の進化に向けて
テーマ10	【パネルディスカッション】 登録上場会社等監査人である中小監査事務所が行う新たな情報開示制度「監査品質のマネジメントに関する年次報告書と監査法人のガバナンス・コードの適用状況」の開示の在り方について（改正公認会計士法施行規則第93条、第95条及び第96条への対応）